

社会科公民的分野 年間指導・評価計画

目 標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点及びその趣旨

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣 旨	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

月	時 数	単元名 教材	学習内容・ねらい
7 月	14	第1編 私たちと現代社会 第1節 私たちが生きる現代社会の特色	<ul style="list-style-type: none"> ○現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解するとともに、諸資料から現代日本の特色に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ○少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。 ○私たちが生きる現代社会の特色について、現代日本に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。
7 月	3	第2節 現代社会の文化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ○現代社会における文化の意義や影響、日本の伝統文化の特徴と多様性について理解する。 ○文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。 ○現代社会の文化と私たちについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。
7 月	4	第3節 現代社会の見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解するとともに、現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解する。 ○社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。 ○現代社会の見方・考え方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

9月	4	第2編 私たちの生活と政治 第1章 個人の尊重と日本国憲法 第1節 法に基づく政治と日本国憲法	<p>○法に基づく政治、日本国憲法の基本的原則及び天皇の地位と国事に関する行為について理解する。</p> <p>○日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○法に基づく政治と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>
9月	10	第2節 日本国憲法と基本的人権	<p>○日本国憲法を基に、人間の尊重についての考え方を理解する。</p> <p>○日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○日本国憲法と基本的人権について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>
9月	3	第3節 日本の平和主義	<p>○日本国憲法が定めている平和主義について理解を深める。</p> <p>○日本国憲法が定める平和主義について多面的・多角的に考察したり、日本の平和主義のあり方について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○日本の平和主義について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>
10月	4	第2章 民主主義と日本の政治 第1節 民主政治と政治参加	<p>○日本の政治のあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方、法に基づく公正な裁判の保障及び地方自治の基本的な考え方について理解する。</p> <p>○民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>
10月	8	第2節 国の政治のしくみ	<p>○国会を中心とする国の政治のしくみのあらましや議会制民主主義の意義、法に基づく公正な裁判の保障について理解する。</p> <p>○民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○国の政治のしくみについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>
10月	5	第3節 暮らしを支える地方自治	<p>○地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に地方自治の基本的な考え方について理解する。</p> <p>○よりよい地域社会を作ることと、住民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○暮らしを支える地方自治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>
11月	6	第3編 私たちの生活と経済 第1節 消費生活と経済のしくみ	<p>○身近な消費生活を中心に経済活動の意義、市場における価格の決まり方や資源の配分を基に市場経済の基本的な考え方について理解する。</p> <p>○消費者の役割と責任について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○消費生活と経済のしくみについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>
11月	8	第2節 生産の場としての企業	<p>○現代の生産などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の問題について理解する。</p> <p>○企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○生産の場としての企業について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>
11月	3	第3節 金融のしくみとお金の価値	<p>○現代の金融などのしくみや働きについて理解する。</p> <p>○金融によって企業や個人が結びついて成り立っている経済活動の意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p>

			○金融のしくみとお金の価値について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。
12月	6	第4節 財政と国民の福祉	○財政及び租税の意義、国民の納税の義務、社会資本の整備、環境の保全、社会保障、消費者の保護について理解する。 ○個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察したり、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ○財政と国民の福祉について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。
1月	6	第4編 私たちと国際社会 第1節 国家と国際社会	○領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を理解する。 ○文化と宗教の多様性などを基に、国際連合の働きと役割などについて多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。 ○国家と国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。
2月	8	第2節 国際社会の課題と私たちの取り組み	○世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であること、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。 ○日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ○国際社会の課題と私たちの取り組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。
3月	7	第5編 私たちの課題 ー持続可能な社会をめざしてー	○持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解するとともに、諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ○私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明・論述したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ○私たちの課題について、課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

【かがやきの評価について】

- 1 知識・技能
「定期考査」「小テスト」「ノート・作品などの作成」
- 2 思考・判断・表現
「定期考査」「ワークシート」「小テスト」
- 3 主体的に取り組む態度
「社会的事象に対する関心」「授業態度」「提出物」「ワークシート」